



第11号

左近中だより

平成29年3月24日

横浜市立左近山中学校

校長 福田 有志

同校 学校だより担当

「何を学んで 何ができるか」

校長 福田 有志

3月10日に第45回卒業証書授与式を実施しました。御来賓として、たくさんの学校関係者や地域、PTAの皆様にお祝いいただきました。卒業生の新たな出発へ向けて、厳粛かつ心のこもった式となりましたことを本当に感謝申し上げます。

さて、3年生は一人ひとり自分の進路を選択して、進路先を決定しました。中学校を卒業してからの進路は、それぞれの将来の夢に向けて、どのような道を歩んでいくのかを思い描いて決めたものだと思います。自分の夢をかなえていくためには「どこで何を学ぶか」と考えた人も多かったのではないのでしょうか。それも進路を考えていくときに大切なことの一つであると言えます。

もう一つ、私が大切であると考えていることがあります。それは、「どこで何を学ぶか」の後に続くものです。「何を学んで何ができるか」ということです。学んだことを自分のものにする。そして、その学んだことを生かしたことをできるようになる。学んで知っているだけではなく、何かを具体的にやれるようになる。これが、学ぶことの意義をより深める大切なことではないかと考えます。

3月1日に人権発表会を行いました。校内で生徒のみなさんが人権作文と人権標語を作りました。その中から選ばれた代表者の発表です。代表者が一人ずつ「いじめや差別」について真剣に発表しました。その発表から、一人ひとりの強い思いが感じられました。聞いている人たちもその思いを受け止めようとしていることが伝わってきました。この発表会では「いじめや差別」について、深く考えることができました。また、人権意識を持つことの大切さや人権感覚を磨くことの必要性を学びました。この発表を本当に生かしていくには、日頃の生活の中でお互いに相手のことを考えて行動できることが大切であり、必要であると考えています。特別な場面だけでなく、日常の中で。

中学校の先には、高等学校だけではなく、常に新しいことに触れ合いながら、学んでいくことがたくさんあります。その学びの中で、自分ができるようになること一つ一つが自信となって、社会人として成長していくのではないかと思います。中学生の時に苦手なこと全てが、その後の人生の中で、ずっと苦手であるとは限りません。様々な可能性を持った若いエネルギーを秘めたみなさんには、これからも大いなる成長に向けて取り組んでいけると考えています。

平成28年度も残すところ後わずかとなりました。卒業した3年生と1・2年生のみなさんがこの一年間、創り上げてきたものは、新たな左近山中学校の伝統となるものと信じています。1・2年生はそれぞれ進級して、上級生となります。この一年で経験したこと、行ってきたことを踏まえて、更に左近山中学校の様々な活動を力強く、進めていくことを期待します。

「有終の美」 — 物事を最後までやり通し、立派になしとげること。【大辞林 第三版】 —

第3学年主任 相原 慶



3年生は、3月10日に卒業式を終え、85名の生徒が義務教育の課程を修了し、それぞれの次なる人生の舞台へと羽ばたいていきました。保護者やご家族、地域の方々には、3年間、本校学校教育へのご理解と

あたたかいご支援を承り、誠に感謝を申し上げます。

卒業した3年生の生徒たちは、お互いを思いやり、仲間と協力できる素養を成長させました。また、体育祭、文化祭、球技大会等の行事では熱意をもって取り組み、共に目標を目指し、困難を乗り越え、喜びを分かち合い、青春を謳歌しました。それぞれの中学校生活の場面、場面には多くの先生や仲間のサポートがあり、それらに応え、本人自身が切磋琢磨する姿がありました。この学年の生徒たちは自分を支えている人のところを受け止め、大切にすることができる生徒たちでした。中学生として立派に成長しました。また、笑顔が多く、学校を明るくしてくれた存在でもありました。「笑う門には福来る」を実践して見せてくれました。我々職員も彼らの笑顔に励まされ、様々な出来事を通して喜びを分かち合うことができました。

さて、今春には85名の生徒たちが新たなスタートラインに立ちます。中国最古の詩篇とされている詩経に次のような一節があります。「初め有らざるなしよく終わりあるは鮮（すく）なし」この一説には初めは誰でも頑張るが最後までやり遂げるのは容易ではないという意味があります。そして日本人なら誰でも耳にしたことのある「有終の美」という言葉の由来とされています。卒業生たちが新たなスタートに立ち、それぞれの目標に向かって歩きだしたときに、物事を最後までやり通し、自分が納得するまで成し遂げられることを大いに願ってやみません。

平成29年3月10日、左近山中学校の体育館に感動を呼ぶ歌声が響き渡りました。在校生と共に歌った「旅立ちの日に」、卒業生による「あなたへ」、校歌「ぼらの青春」。本当に素晴らしい歌声でした。そこには多くの人に感謝を伝え、自分自身と仲間を称え、新しい一步を踏み出す勇気を鼓舞する姿がありました。有終の美を飾れた卒業生たちの前途はきっと明るいことでしょう。希望の光をもって、未来に大きく羽ばたいていってください。3年間、やさしさと感動をありがとう。これからの人生が幸多いものであることを願いつつ、感謝の言葉とさせていただきます。

第2回 「まち」とともに歩む学校づくり 左近山中学校懇話会

3月17日(金)に左近山中学校において、第2回 まち懇（「まち」とともに歩む学校づくり左近山中学校懇話会）が開かれました。

今回のまち懇では、左近山中学校の学校評価（生徒や保護者によるアンケート結果・分析）、中学校の現状や学校や地域における中学生の様子等、様々な角度からの報告や意見交換が行われました。懇話会の主な内容は次の通りです。

- 学校評価について（山下主幹教諭より）
 - ・12月に行った内部評価の説明
 - ・生徒アンケート結果および保護者アンケート結果の説明。
- 各学年の状況等
 - ・各学年主任、生徒指導専任、教務主任より、学年の様子・学校全体の状況などの説明。
- 地域の方々からのご意見・ご質問等
 - 現在の左近山中学校について地域の方からは、落ち着いた状況の中で学習や行事に取り組んでいるのではないかというご意見をいただきました。
また、次のようなご意見・ご質問等がありました。
 - ・登下校時の様子を見ていると学校での仲良く過ごしている様子が伺える。
 - ・身だしなみがよくなっていると感じます。
 - ・最近地域でゴミをちらかすようなことはほとんどない。
 - ・アンケートの回収率は他と比べてどうなのか。
 - ・学校評価と現在の学校状況説明を聞いて、先生方の指導の充実に向けた取組を感じました。
 - ・学習について、どのように生徒の意欲を高める取組や効果的な方策を取っているのか。
 - 貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。次年度の教育活動の推進に向けて今回いただいたご意見を生かして、改善に向けて職員一同で取り組んでいきたいと思っております。

お知らせ

平成29年度4月当初の予定

5日(水) 着任式・始業式 入学式 新入生受付 12:45～ 入学式 13:30

6日(木) 離任式 新入生を迎える会

14日(金) 授業参観 (12:30～13:20) 学級懇談会 部活動保護者説明会

18日(火) 3年生全国学力・学習状況調査

入学式

生徒 教科授業のアンケート結果(平成28年12月実施)

4 そう思う 3 やや思う 2 あまり思わない 1 思わない

注:「全体」は、「1年」、「2年」、「3年」、「567組」の合計で算出しています。

→「567組」は母数が少ないため、単独では表記していません。

No.	評価項目	4と3の合計				
		1年	2年	3年	全体	今年7月全体
101	私は、忘れ物(授業の道具、提出物や宿題)をしていません。	70%	72%	81%	73%	75%
102	私は、チャイムと同時に授業に入られるよう、心の準備をして授業に臨んでいます。	84%	79%	88%	82%	83%
103	私は、授業中に先生の話を中心して聴き、授業をまじめに受けています。	80%	78%	92%	82%	80%
104	私は、放課後に学びのひろばや家などで、予習や復習をしています。	52%	41%	58%	49%	47%

【1年生】

→項目番号105から109までは、「567組」の生徒は回答していません。

No.	評価項目	4と3の合計									
		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語	
105	先生は、ていねいに、わかりやすく授業を進めています。	97%	94%	59%	95%	87%	89%	97%	92%	89%	
106	副教材(ワークブック等)や先生が用意する教材、プリントは役立っています。	89%	91%	74%	91%	82%	82%	88%	85%	91%	
107	毎時間の授業を通して、学習への興味や意欲が高まります。	77%	81%	46%	83%	68%	78%	81%	73%	74%	
108	授業で複数の先生が教えてくれるのはわかりやすい。			48%							
109	少人数での学習は、クラス全員での学習よりわかりやすい。										

【2年生】

→項目番号105から109までは、「567組」の生徒は回答していません。

No.	評価項目	4と3の合計									
		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語	
105	先生は、ていねいに、わかりやすく授業を進めています。	84%	93%	76%	87%	80%	81%	95%	92%	90%	
106	副教材(ワークブック等)や先生が用意する教材、プリントは役立っています。	85%	88%	78%	86%	71%	80%	81%	80%	88%	
107	毎時間の授業を通して、学習への興味や意欲が高まります。	65%	74%	53%	67%	59%	60%	76%	78%	77%	
108	授業で複数の先生が教えてくれるのはわかりやすい。										
109	少人数での学習は、クラス全員での学習よりわかりやすい。									80%	

【3年生】

→項目番号105から109までは、「567組」の生徒は回答していません。

No.	評価項目	4と3の合計									
		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語	
105	先生は、ていねいに、わかりやすく授業を進めています。	93%	99%	78%	29%	84%	99%	97%	93%	82%	
106	副教材(ワークブック等)や先生が用意する教材、プリントは役立っています。	96%	99%	85%	45%	88%	93%	86%	93%	85%	
107	毎時間の授業を通して、学習への興味や意欲が高まります。	81%	90%	73%	32%	79%	96%	93%	86%	72%	
108	授業で複数の先生が教えてくれるのはわかりやすい。	89%			68%						
109	少人数での学習は、クラス全員での学習よりわかりやすい。			85%							

生徒 学校生活のアンケート結果(平成28年12月実施)

4 そう思う 3 やや思う 2 あまり思わない 1 思わない

注:「全体」は、「1年」、「2年」、「3年」、「5組」の合計で算出しています。

→「5組」は母数が少ないため、単独では表記していません。

No.	評価項目	4と3の合計				今年7月全体
		1年	2年	3年	全体	
1	学校生活は楽しい。	85%	61%	89%	80%	83%
2	目標を持って学校生活を送っている。	65%	53%	81%	66%	67%
3	あいさつや返事をしっかりとしている。	91%	81%	89%	87%	86%
4	しっかりとした服装・態度で生活している。	93%	93%	92%	93%	92%
5	自分の机・イス・ロッカーや、公共の物を大切に利用している。	92%	88%	96%	91%	91%
6	校内の美化に心がけ、ゴミの少量化や分別を意識して生活している。	84%	79%	92%	84%	78%
7	授業中しっかりと話を聞き、考えようとしている。	84%	84%	92%	86%	80%
8	授業以外で毎日勉強している。	52%	41%	70%	54%	47%
9	自分の学力は向上している。	60%	51%	84%	64%	65%
10	生徒会活動や委員会活動・学級の係活動はしっかりと取り組んでいる。	77%	75%	88%	80%	80%
11	学校行事や校外学習にしっかりと取り組めた。	86%	85%	95%	88%	93%
12	部活動にしっかりと取り組んでいる。 (部活動参加生徒のみで集計)	92%	89%	100%	91%	90%
13	学習室「学びのひろば」があると助かる。	52%	39%	49%	46%	51%
14	長期休業中に学習相談日があると助かる。	27%	28%	43%	33%	40%
15	先生方は相談に乗ってくれる。	66%	58%	76%	67%	69%
16	先生方はいじめなどのない楽しい学級づくりや学校づくりに努めてくれている。	70%	58%	82%	70%	76%
17	先生方はよい行いや努力したことを認めてくれる。	77%	66%	84%	76%	79%

【生徒アンケートの結果について】

- 項目番号3,4,5は、昨年に引き続き全学年とも80%以上の生徒が「そう思う」または「やや思う」と回答しています。これらの数値の高さに表れている生徒の高い規範意識によって、落ち着いた雰囲気の左近山中学校がつくられていることがうかがえます。
- 項目番号7,8は、昨年12月より順次改善されています。生徒の皆さんは徐々に、学習に必要性に気付き、自ら机に向かう姿勢が定着しつつあるようすがうかがえます。
- 3学年は、全体的に「そう思う」または「やや思う」と回答している生徒の割合が高く、学校のリーダーとして、下級生の模範となる生活を送っています。
- 2学年は、全17項目中8項目で昨年1年次12月より改善しつつも、未だ課題のある項目が多いと言えます。しかし、項目番号4,5,7,15では、2調査連続して改善しました。特に項目番号7においては、昨年1年次12月の69%から、大きく回復しています。
- 項目番号10,14は、2調査連続して改善しましたが、反対に項目番号13,14は、3調査連続して下がっています。自習室に対する生徒の皆さんの必要感の変化や使いにくさ等の調査を通して、学習機会の保障の場としての機能を強化していきます。

保護者 学校評価アンケート結果(平成28年12月実施／回収率50%)

4 そう思う 3 やや思う 2 あまり思わない 1 思わない *わからない

注:「*わからない」という回答の数を分母から除外して割合を算出しています。

取り組み分野	No.	評価項目	4と3の合計	
			今回	今年7月
教育課程 学習指導	1	学校は、学習時間の確保に努めています。	93%	96%
	2	学校は、朝読書や自習室「まなびの広場」の開設などで、基礎学力の定着に努めています。	88%	93%
	3	教員は、わかりやすい授業実践に努めています。	75%	81%
	4	少人数授業* (2年の英語/3年の数学) や、TT* (1年の数学/3年の国語と理科) は、生徒の学力向上に効果的です。	83%	93%
	5	教員は、生徒の学力や努力を適切に評価しています。	86%	82%
進路指導	6	学校は、3年間を通して、学年に応じた進路学習を行っています。	82%	85%
	7	教員は、生徒が自分に適した進路を選択できるように指導しています。	86%	86%
生徒指導	8	教員は、生徒の規範意識の向上に努めています。	82%	88%
	9	学校は、保護者や地域と連携して生徒理解に努めています。	83%	86%
	10	生徒は、生徒会活動・委員会活動に意欲的に取り組んでいます。	90%	91%
	11	生徒は、学校行事や校外学習に意欲的に取り組んでいます。	97%	96%
保健管理	12	生徒は自主的に健康管理に取り組んでいます。	77%	74%
	13	「保健便り」等は、生徒の生活・食生活の参考になります。	82%	87%
	14	教員は、生徒の健康状態に配慮しています。	78%	87%
安全管理	15	学校は、災害や事故に適切に対応しています。	78%	89%
	16	学校は、侵入者対応などの防犯対策に取り組んでいます。	71%	75%
特別支援教育	17	学校は、個別支援学級と一般学級生徒の相互理解に努めています。	88%	92%
保護者 地域連携	18	学校は、「学校便り」等を通して学校の様子を積極的に発信しています。	89%	90%
	19	学校は、地域とのつながりを大切にし、地域活動(学校開放、自治会行事など)に協力しています。	84%	92%
教育環境整備	20	学校は、施設の維持・管理に努めています。	88%	94%
	21	教員と生徒は、清掃や美化活動に取り組んでいます。	88%	91%
その他	22	生徒は、部活動に熱心に取り組んでいます。	90%	93%
	23	生徒は、充実した中学校生活を送っています。	87%	90%

※少人数授業*: 学級を複数の集団に分けて行う授業形態

※TT*: 1つの集団を複数の教員で指導する授業形態

【保護者アンケートの結果について】

- 23項目中18項目で80%以上の方から肯定的な評価をいただきました。
- 項目番号1,10,11,22で、どの学年も高い評価をいただきました。授業は時間数の確保とともにその進め方の研修と工夫(同3)に今後も努めてまいります。学校行事や部活動は魅力ある活動と目的によって、意欲的で主体的な取組を今後も一層引き出し、すべての生徒が充実した学校生活を送れるよう(同23)、不断の改善に努めてまいります。
- 項目番号5,6,7で、「わからない」と回答された方が大きく減り、「そう思う」「ややそう思う」と回答された方の実数は増えています。1年次における職業調べと職業講座、2年次における人生設計と職場体験、3年次における上級学校の教育課程と進路選択という3年間の本校の進路指導の流れのご理解が進んでいるものと思われまます。
- 項目番号19は、3調査連続して肯定的な評価が減っています。小学校の統合に伴う学区の改善への対応を進め、新たに学区に加わった地域との連携やつながりをつくってまいります。